

例会報告  
「日本昆虫学会に参加しよう！」  
佐賀市（2023.9.17）

今回は、佐賀大学農学部徳田先生の特別な計らいで日本昆虫学会の年次大会に参加することができました。佐賀では初めての開催だったそうで、全国から約300人が集まり、最新の研究成果が共有されました。

少年団で参加したのは、小中高生ポスター発表と標本展示でした。ポスター発表では、セミの分布やトンボやチョウの生態、バッタの体色などかなり専門的な内容を模造紙2枚にびっしりとまとめてあり、「すごい！」の感想で、詳しく理解するにはちょっと難しかったようです。全国の小、中学生の中には大人も顔負けの研究を行っている子がいるのですね。びっくりしました。また、別の会場では、「昆虫じまん」と題して4名の高校生が昆虫標本の展示・説明を行っていました。幼少期から集めた標本を採集した時のエピソードと一緒に団員の子どもたちへも丁寧に説明していただきました。また、場所と時間を決めてトラップ（仕掛け）を行い、そこで捕獲した、コクワガタやカナブンなどを標本にして説明している高校生もいました。以前少年団で採集・観察したタマムシの標本もあって、懐かしかったです。展示していた高校生から伺ったところ、やはり採集した木は例会で採取した木と同じ種類の「エノキ」だったそうです。そのように、団員さんと高校生が楽しく会話している姿も見られ、とても盛り上がりました。

今回は雨にも関わらず、多くの団員さんの参加がありました。昆虫標本に興味津々の人が多く、少年団の例会でもまた昆虫などの生き物観察を行ってみたいとも思ったところです。2時間弱の見学でしたが、貴重な体験をすることができました。このような機会を与えていただいた佐賀大学の徳田先生に感謝申し上げます。ありがとうございました。

（参加者：43名）



ポスター展会場 全国から小・中・高生が集まり熱弁をふるっていました



小学生の説明に大人が耳を傾ける



「昆虫じまん」会場



標本の持ち主である高校生から、説明を受ける。



会員さんからの質問にも優しく、



丁寧に答えていただきました。